

Lレコード大のダイナマイト。 Gは小さくてもマスターヴォリュームタイプの本格派。

G-10L

ミニサイズのボディが生み出すマキシマムなサウンド。
G-10Lブラックキーはレザータッチ。シティ感覚のパワーボーイ。

¥19,800

ブラックキーはいつでも、どこへでも君のあとについていく。ハードなディストーションも、ソフトでメロウなサウンドも、思いのままに運んでくれる。マスターヴォリュームを装備。夜間の練習にはヘッドフォンも。ちょっとナルシズムにひたりながらトリップしてみよう。



パワー：7W rms (14W peak) @ 8Ω
スピーカー：16cm (8Ω) ×1
インプット：1ch 2in (HIGH, LOW)
入力感度・インピーダンス：HIGH (-42dB・1MΩ), LOW (-36dB・130kΩ) @ 0dB=0.775V, VOLUME & TONE max. at 1kHz
アウトプット：HEADPHONE
コントロール：VOLUME, BASS, TREBLE, REVERB, MASTER VOLUME
定格電源電圧・周波数：100V・50/60Hz
定格消費電力：13W
サイズ：30.2W × 26.0H × 15.0Dcm
重量：4.3kg

Power Boy

G-10W

コンパクトボディからグレートなパフォーマンス。
G-10Wブラウンキーはウッドフィニッシュ。ナチュラル指向のパワーボーイ。

¥20,800

ウッド的な感覚がひととき光るブラウンキー。マスターヴォリュームを装備。あふれるサウンドブローに驚いてばかりはいられない。ヘッドフォンを活用して、こっそりテクニックをみがいておくのも結構。所かまわずどんだん君だけのワンマンコンサートを開くのもいい。



パワー：7W rms (14W peak) @ 8Ω
スピーカー：16cm (8Ω) ×1
インプット：1ch 2in (HIGH, LOW)
入力感度・インピーダンス：HIGH (-42dB・1MΩ), LOW (-36dB・130kΩ) @ 0dB=0.775V, VOLUME & TONE max. at 1kHz
アウトプット：HEADPHONE
コントロール：VOLUME, BASS, TREBLE, REVERB, MASTER VOLUME
定格電源電圧・周波数：100V・50/60Hz
定格消費電力：13W
サイズ：30.0W × 25.5H × 15.0Dcm
重量：4.0kg

Power Boy

COLUMN 1：ディストーションの意味を正確に知っているだろうか。

ディストーション。もはやLM用語としてかなり一般的になってきたことばだ。しかし、その意味をちゃんと理解している人は、意外に少ないようだ。まず、意味から調べてみよう。辞書をひくと「歪み」とある。つまり、LM用語として使う場合は音の歪みのことだ。一般にオーディオ機器やPA機器においては、歪みは悪いものでもない。ところが、ギターアンプでは全く事情が異なる。エレキギターにはドライブのきいたディストーションサウンドは全くこのときで必要要素だ。もちろん、歪みの少ないクリアなサウンドも必要。そこでこれを使い分けられることが重要なポイントになる。

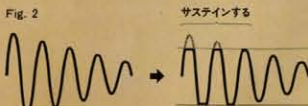
ディストーションを充分にコントロールできるために、次にディストーションの原理を知っておかなければならない。アンプにはすべて定格として表示された連続出力(W rms)というものがあ。それ以上の大きな連続音は出せない。にもかかわらず限界を超えて増幅したり、インプットに過大な入力信号を入れたりすると、いわば無理な分だけ歪みとなって表われるわけだ。ところで出力とは音の大きさだから、波形の振幅に相当する。連続出力は、この連続的な振幅の限界値を示しているわけだ。それを越えようと、波形の山と谷の頂点の部分にまでパワーが行き渡らないため頂点が削られて

(クリップして)、矩形波と呼ばれる波形に近くなる。これがディストーションだ。もともとエレキギターの波形は、倍音をあまり含まない正弦波と呼ばれる波形に似ている。ところがディストーションすることによって生まれる矩形波には奇数次の倍音が多く含まれている。こうしてエレキギター独特の豊かなディストーションサウンドが得られるわけだ。実は波形のクリップする度合いにより、入力信号とはさまざまに異なった波形になるので、ディストーションの深さによっても少しずつ音色は違ってくるわけだ(Fig.1)。

ヤマハギターアンプG、JX、Fシリーズなどでは、このディストーションはヴォリュームノブやゲインノブによってコントロールされる。ノブがあるポイント以上上げれば歪みはじめるしくみだ。しかし、それだけでは深いディストーションを得るために、音量も上げなければならない。そこで開発されたのがマスターヴォリューム方式。普通のヴォリューム(リアンプヴォリューム)とは別に、出力の限界をコントロールするマスターヴォリュームをつけ加える方式だ。ヴォリュームを上げてマスターヴォリュームさえ絞ってあげれば、小さな音量でディストーションが得られるから便利だ。

また、ディストーションとサステインとは密接な関係があ

るの知っているだろうか。エレキギター本来の信号は時間とともに徐々に減衰していく。しかし、ディストーションさせると、波形がクリップしなくなるまで、すなわち定格の連続出力以上に増幅されなくなるまで音量が一定に保たれる。こうして音量が変化しないまま音が伸び、サステイン効果が生まれるわけだ(Fig.2)。



褐色のセンセーション。JXはマスターヴォリュームタイプ。ギターアンプのニューウェイヴ来るか。

JX20

20Wrmsのパワーと高効率25cmフルレンジスピーカー。
コーヒープラウンのボディ。いよいよスーパースター予感。

¥30,800

音量に関係なくディストーションをコントロールできるマスターヴォリュームタイプ。ハードなディストーションの得られるプルゲインスイッチ。定格を越えてはるかにラウドな出力感。トレーニングにもモニターにも便利なヘッドフォン端子。抜群の耐久性とシェイプアップされた機能をマウントした褐色のギターアンプ。



パワー：20W rms (40W peak) @ 8Ω
スピーカー：25cm (JA2513, 8Ω) ×1
インプット：1ch 2in (HIGH, LOW)
入力感度・インピーダンス：HIGH (-41dB・340kΩ), LOW (-29dB・60kΩ) @ 0dB=0.775V, VOLUME & EQ max. PULL GAIN off. at 1kHz
アウトプット：HEADPHONE
コントロール：VOLUME, PULL GAIN SW, MASTER VOLUME, EQUALIZER (TREBLE, BASS), REVERB
定格電源電圧・周波数：100V・50/60Hz
定格消費電力：17W
サイズ：42.0W × 40.0H × 20.0Dcm
重量：12.0kg
付属品：VINYL COVER



- ① INPUT・HIGH：高感度(-41dB PULL GAIN off, -55dB PULL GAIN on)、高インピーダンス(340kΩ)なので、ディストーションが得やすく音色もタイト。通常はこのHIGHを使う。
- ② INPUT・LOW：HIGHに比べ、低感度(-29dB PULL GAIN off, -43dB PULL GAIN on)、低インピーダンス(60kΩ)なので、ディストーションが少なく、高域の落ちたマイルドなサウンドが得られる。サイドギターの場合や、シンセサイザーの豊かなディストーションサウンドに使おう。HIGHとLOWを同時に使った場合は、両方と同じ値の高入力感度、高インピーダンスインプットとして働く。
- ③ VOLUME+PULL GAIN：いわゆるリアンプヴォリューム。音量だけでなく、ディストーションの深さもこのノブでコントロールするしくみだ。右隣のMASTER VOLUMEと組

み合わせて使う場合は、むしろディストーションの深さをコントロールするためのノブと考えよう。このVOLUMEノブには引くとオンするPULL GAINスイッチが装備されている。PULL GAINスイッチはいわば全域ブースター。入ると+14dB(約5倍)のブースト効果があるから、ディストーションが得やすくなるわけだ。

④ MASTER VOLUME：ディストーションの状態や音色をほとんど変えずに、音量(出力)のみをコントロールするノブ。例えばVOLUMEを10にして、このMASTER VOLUMEを絞ってあげれば、小さな音量でもハードにディストーションしたサウンドが作れる。これがマスターヴォリューム方式の最大のメリット。ギンギンにディストーションさせてリードギターを弾きたいが、ヴォリュームを上げ過ぎるとバンドとしてのアンサンブルがこぼれる……なんてディレンマはもう過去のもの。ディストーションのためのエフェクターもいらぬし、レコ

- ⑤ TREBLE EQUALIZER：高域用トーンコントロール。5でノーマル。10側に回していくと高域がブーストされ、明るくそして鋭いサウンドになる。逆に0側に回していくと高域がカットされ、マイルドでもったサウンドになる。
- ⑥ BASS EQUALIZER：低域用トーンコントロール。5でノーマル。10側に回していくと低域がブーストされ、深くそしてヘヴィなサウンドになる。逆に0側に回していくと低域がカットされ、ハードで軽いサウンドになる。
- ⑦ REVERB：残響効果をつけるノブ。例えばPAでも重要な音である。普通、我々が聴いている音には何らかの形で残響が加わった音である。決して生音ではない。ところが、他の音が混ざらないようにPAではギターアンプぎりぎりのところにマイクをたてて音をひろう。すると残響音はほとんどひろえないから、そのままだとどれどれの生音になってしまう。そこでこのREVERBノブを使うわけだ。また例えば、レコーディングの時も重要。このREVERBノブによって、音の前後の定位、つまり音源の奥行きをコントロールすることができる。深くかけるほど遠くで響いているように聞こえるわけだ。
- ⑧ PHONES：ヘッドフォンジャック。ヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからは音が出なくなるしくみ。

JX30

30Wrmsのパワーで30cmフルレンジスピーカーをドライブ。
3バンドイコライザーを装備。はじめから少しハイグレイドに迫ろうか。

¥39,800

ワイルドなディストーションも、バランスの良いクリアサウンドも、マスターヴォリュームによって思いのまま。トーンコンはトレブル、ミッドル、ベースの3バンドイコライザー。ブースト効果のためのプルゲインスイッチもユースフル。もちろんヘッドフォン端子だって装備。ラウドでパワフルな褐色のグレイドアップ30Wタイプ。



パワー：30W rms (60W peak) @ 8Ω
スピーカー：30cm (JA3067, 8Ω) ×1
インプット：1ch 2in (HIGH, LOW)
入力感度・インピーダンス：HIGH (-39dB・340kΩ), LOW (-27dB・60kΩ) @ 0dB=0.775V, VOLUME & EQ max. PULL GAIN off. at 1kHz
アウトプット：HEADPHONE
コントロール：VOLUME, PULL GAIN SW, MASTER VOLUME, EQUALIZER (TREBLE, MIDDLE, BASS), REVERB
定格電源電圧・周波数：100V・50/60Hz
定格消費電力：24W
サイズ：47.3W × 45.0H × 21.0Dcm
重量：13.6kg
付属品：VINYL COVER